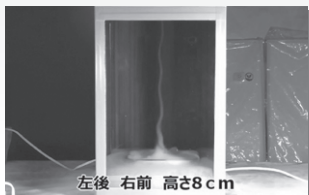


News Clip & AV Material



左後 右前 高さ8cm

「竜巻のふしぎ」



「海の宝石 ウニの秘密」

ニュースクリップ&映像教材

■第15回「全国こども科学映像祭」入賞作品決定

子どもたちの科学への関心を喚起し、カメラの目を通して科学の楽しさ、素晴らしさを理解させ、子どもたちの“科学する心”を育てることを目的とした、小・中学生が制作する科学ビデオのコンクールである標記映像祭において、文部科学大臣賞（最優秀作品賞）に、小学生部門「竜巻のふしぎ」（写真上）、中学生部門は「海の宝石 ウニの秘密～ウニの視覚にせまる～」（写真下）の2作品が決定した。その他入賞作品については、29頁〈協会情報〉を参照のこと。

AV情報

■「映画におけるデジタル保存と活用のためのシンポジウム」

東京国立近代美術館フィルムセンターでは、デジタル映画のこれからの保存と活用について考える標記シンポジウムを開催する。

〈日時〉平成29年1月26日（木）10:30～17:00・27日（金）10:30～18:00

〈会場〉東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール（東京都中央区京橋3-7-6）

〈内容〉基調講演「ポストアナログ時代のフィルムアーカイブ」岡島尚志氏（東京国立近代美術館フィルムセンター主幹）、パネルディスカッション「映画におけるデジタルシフトへの対応を誰が、どう担ってゆくか」等。事前申込制。申込、詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.momat.go.jp/fc/>

〈問い合わせ先〉NFCシンポジウム事務局

MAIL nfc-sympo@bwt.jtb.jp

コンクール情報

■「第58回科学技術映像祭」作品募集

科学技術への関心を喚起し、その普及と向上を図るとともに、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的として、（公財）日本科学技術振興財団、（公社）映像文化製作者連盟、（公財）つくば科学万博記念財団の主催による標記映像祭では作品を募集している。

〈部門〉①自然・暮らし部門、②研究開発部門、③科学技術教育・教養部門

〈参加資格〉日本所在の製作者、企画者（スポンサー）、テレビ局、学術研究・教育機関および個人が制作した作品。上映時間は原則として90分以内。詳細は下記を参照のこと。<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>
〈賞〉内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、部門優秀賞他を予定。

〈締切〉平成29年1月25日（水）必着。

〈問い合わせ先〉（公社）映像文化製作者連盟

TEL 03-3662-0236

協会情報

第15回「全国こども科学映像祭」入賞作品発表

(一財)日本視聴覚教育協会、(公財)つくば科学万博記念財団、国立研究開発法人科学技術振興機構、(公財)ニューテクノロジー振興財団主催、文部科学省他後援による標記映像祭について、平成28年10月31日に応募を締め切り、11月14日に開かれた審査委員会を経て、応募作品60作品(小学生部門31作品・中学生部門29作品)のうち、以下のように入賞作品を決定した(敬称略)。

◆文部科学大臣賞(最優秀作品賞) ○小学生部門「竜巻のふしぎ」玉井大喜(沖縄県那覇市立曙小学校2年) ○中学生部門「海の宝石 ウニの秘密〜ウニの視覚にせまる〜」内田桜綾(愛知県岡崎市立北中学校2年)

◆優秀作品賞 ○小学生部門「雲をつかむ話〜レンズ雲ができるしくみ〜」水見優佳(富山県滑川市立寺家小学校5年)、「テントウムシのくらし」清水律(京都市立桃山小学校2年) ○中学生部門「すごいぞ!菌の力〜身近な菌を使って川をきれいにする〜」佐久間香帆(愛知県岡崎市立新香山中学校3年)、「太井川のホタルを増やす方法」大阪府太子町立中学校社会科学部 太井川生物研究班

◆佳作 ○小学生部門「ハイビスカス」佐久間智煌・裕瑚(東京都八丈町立大賀郷小学校3・4年)、「世界最強のクマムシ」中沢藍(長野市立長沼小学校6年) ○中学生部門「すごいぞ!100m以上飛ぶバッタのひみつ!パートIV」寺尾皓太郎(静岡大学教育学部附属島田中学校2年)、「検証セウォル号の転覆—安全な船旅を願って—」中根有彩(愛知県岡崎市立新香山中学校3年)

◆審査委員会特別賞 ○小学生部門「光るキノコはなぜ光る?〜パートII〜」八丈サイエンスクラブ 光るキノコ班(東京都八丈町)《地域特有の対象をていねいに調べて記録した努力に対して》 ○中学生部門「海の掃除機 アサリの力 PART7」内田悠雅(愛知県岡崎市立北中学校3年)《7年間の研究の成果に対して》

なお、表彰式・上映会および記念講演会は、平成29年1月14日(土)13:30から、JST東京本部別館1階ホール(東京都千代田区五番町7K's五番町)にて行われる。当日は「映像が伝える力を信じよう」と題して、海野和男氏(日本自然科学写真協会会長)の記念講演も行われる(参加自由・入場無料)。

学会情報

■「デジタル教科書のメリット・デメリットを考える」

日本教育メディア学会では、標記テーマによるワークショップを開催する。

〈日時〉平成29年2月10日(金)14:00~17:00

〈会場〉内田洋行新川ユビキタス協創広場 CANVAS(東京都中央区新川2-4-7)

〈内容〉デジタル教科書の学習効果について、パネリストらによる議論。

〈問い合わせ先〉関西大学 久保田賢一

MAIL kubota@kansai-u.ac.jp

各地の情報

■ デジタルアーカイブ in 岐阜2017 「ICT教育

セミナー」

岐阜女子大学では、「次期指導要領の改訂の視点とアクティブ・ラーニング」をテーマに標記セミナーを開催する。

〈日時〉平成29年2月11日(土・祝日)10:30~16:00

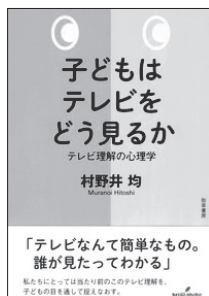
〈会場〉岐阜女子大学文化情報研究センター(岐阜県岐阜市明德町10杉山ビル4F)

〈内容〉基調講演「図書館とデジタルアーカイブの未来」柳与志夫氏(東京大学大学院)、講演「次期学習指導要領とアクティブ・ラーニング」下村昌弘氏(文部科学省生涯学習政策局)、「アクティブ・ラーニングとICT教育」小柳和喜雄氏(奈良教育大学)、最新技術説明会等。

〈問い合わせ先〉岐阜女子大学文化情報研究センター TEL 058-267-5237

■ 茨城県教育工学研究会1周年記念研究会・デジタル表現研究会(D-project)茨城

ブックレビュー



「子どもはテレビをどう見るか—テレビ理解の心理学」

村野井均 著
勁草書房 発行
2016年10月20日刊 四六判
228頁
2,500円 (税別)

わが国で1960年前後にテレビが普及してから、55年あまりが経つ。テレビ受像機は、カラー化、液晶化、リモコン操作化、デジタル放送化など、この期間に大きな変化があったが、番組そのものは進化してきたのだろうか。そして、番組を視聴する側の認知能力はどのようなのだろうか。

子どもがテレビの前に座って、画面を真剣に見ていたとしても、その番組の中身をきちんとわかっているとは限らない。発達心理学者なら一応そのことは理解しているが、実際にデータを集めて研究を行い、具体的に明らかにしてきたのが、本書の著者、村野井均教授である。

たとえば、人気番組『サザエさん』は、子どもの理解を超える内容が多い「大人のアニメ」であ

ることが本書の中で丹念に示されている。また、完全なお子様番組のはずの『ドラえもん』でさえ、「どこでもドア」の空間移動の意味が幼児や児童にきちんと理解されているわけではないなどということも明らかにされた。

テレビで用いられている「映像文法」は、最初に映画人が開発したものである。本書ではソビエトの映画監督セルゲイ・エイゼンシュタインのモンタージュ理論が取り上げられているが、アメリカの草創期の映画監督D・W・グリフィスのカットバック技法も重要である。いずれにしても、映像文法というものは、子どもだけでなく大人でもときに理解が難しいこと、特に高齢者に理解が届きにくいことが本書でも示されている。とりわけCGを駆使した制作技法は、子どもや高齢者の誤解をより起こしやすくしていると思われる。

しかし、高齢者の映像理解の困難さが年齢効果なのか、テレビ出現よりも前に生まれた世代というコーホート効果なのかについては、今後の大きな検討課題である。

本書は、これまでのメディア認知研究の大きな成果であると同時に、今後の研究課題を考える出発点にもなる好著である。

(甲南大学特任教授 子安増生)

茨城大学教育学部学校教育教室では、現場の教員とICTやメディア教育に関する本研究会を立ち上げ、1周年記念の本研究会を開催する。なお、全国的な情報教育の研究団体であるD-projectとの共催で行う。

〈日時〉平成29年2月11日(土・祝日)12:50～17:00

〈会場〉NTTドコモ茨城支店(茨城県水戸市宮町1-1-83)

〈内容〉実践発表、ミニ講演「効果的なICTを活用した授業実現のために」、ワークショップ他。

〈参加費〉200円(資料代)

〈問い合わせ先〉茨城大学教育学部学校教育教室 村野井 TEL 029-228-8309

文部科学省選定作品

■11月選定 □DVD

『「買ってきて！」は詐欺です 若者を狙うプリペイドカード(電子マネー)詐欺』□19分(中学校、技術・家庭/高等学校、家庭/少年・青年・成人、国民生活(消費者保護))(株)映学社

『シリーズ 認知症形態別事例集 認知症とともに生きていく 第1巻アルツハイマー型認知症～88歳と84歳のご夫婦の生活を観る～』□22分、

『シリーズ 認知症形態別事例集 認知症とともに生きていく 第2巻レビー小体型認知症～患者と家族を支え・ケアする在宅医療の力～』□24分(高等学校、福祉/青年・成人、地域社会生活(地域の保健・福祉))東京シネ・ビデオ(株)

『「私は大丈夫」その自信が危ない!プリペイドカード詐欺・マイナンバー便乗詐欺・老人ホーム入居権詐欺』□24分(成人、国民生活(消費者保護))(株)映学社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm